

第49回 上野焼春の陶器まつり 陶芸の里に春の訪れ知らせる恒例行事

上野焼協同組合の9窯元による「春の陶器まつり」が4月29日から3日間開催されました。期間中は、大勢の陶芸ファンがお気に入りの逸品や春ならではの割引商品を探し、上野焼陶芸館や各窯元を散策。同時開催されたJAL協賛のスタンプラリーや「ふくち案内人」のガイドも好評を受け、大きなにぎわいを見せました。



↑ 来場者たちは、色味や手触り、洗いやすさなどを実際に手に取りながら品定め。

↓ 「不安要素があつた優勝でき、自信につながった」と笑みを浮かべた井上さん。



好 福岡マスターズ陸上競技選手権大会 記録でつかんだ福岡3冠と全国への道

ふくちのち館長の井上憲治さんが、5月5日に開催された「福岡マスターズ陸上競技選手権大会」男子シニアの部の60m・100m・200mで、見事3冠を果たしました。強風の中出場した200mでは、30.32秒の好タイムを記録した井上さん。「全国大会での上位入賞を目指し、練習に励みたい」と次のステージを見据えていました。

↓ 宝見・町部・上金田の3地区で建立され、地域を練り歩いた「子ども山笠」。



雨 金田菅原神社 神幸祭 音にも負けない元気な声響いた神幸祭

春の風物詩である金田菅原神社の神幸祭が、4月15日から2日間で行われ、「子ども山笠」が地域を練り歩きました。新型コロナの影響で3年ぶりの開催となった神幸祭。ひょうが降るなど、両日ともあいにくの天気でしたが、子どもたちの元気な「オーラーヤッサー」の音が響き渡り、地域住民の心を熱くしました。

常 Starry sky children 常識という名の鎖を解き放った夢企画

T-BOLANでボーカルの森友嵐士さんと地元の有志が合同で主催した「Starry sky children」が、5月5日にMIRAI FARM(上野)で開かれました。来場者たちは、輪投げやヨーヨーなどの出店を満喫。森友さんは「この企画が、大人も子どもも常識という名の鎖を取って楽しめた機会になったなら」と目を細めていました。



↑ 自ら法被を着て来場した子どもたちと触れ合ったT-BOLAN・森友嵐士さん。

↓ 宮崎愛里選手(9番)のトスに合わせ、原田菜里選手(7番)が強烈なアタックを打ち込み得点。



V カノア福岡・エキシビジョンマッチ リーグに向け勝利のアタック

カノアラウレアーズ福岡と関西福祉大学のエキシビジョンマッチが、5月21日に田川市総合体育館で行われました。激闘の末、3-1でカノア福岡が見事勝利。試合後、キャプテンの熊本比奈選手は「Vリーグでの全勝優勝に向けて日々精進し、福智町の皆さんに勇気や感動、そして夢を与えられるようにチーム一丸となって奮闘していきます」と力強く語りました。

筑 全日本U-12フットサル選手権福岡県大会 豊地区予選大会優勝で県大会出場

町を拠点に活動するサッカーチーム「AREGRIA」(弁城)が、4月15日から始まったクラブユース選手権大会で優勝し、県大会出場を決めました。準決勝では香春FCを破り、決勝戦では強豪・川崎FCに4-2で勝利。県大会に向け、選手たちは「勢いこのままに、県大会優勝を目指して頑張ります」と意気込みました。



↑ 別大会(筑豊支部リーグ戦)に出場した「AREGRIA」。FCVIDを破って5連勝中。

↓ 全学年がブロック別に分かれ、力とチームワークを競った綱引き(赤池中)。



無 町内3校で体育会 制限下で見届けた子の成長に感無量

赤池中と方城中、金田義務教育学校(後期)で5月20日、さまざまな制限のない体育会が4年ぶりに行われました。全学校の生徒612人は、自分もつ力を振り絞り、徒競走やダンスなどの競技や演舞を披露。保護者は、成長した子どもたちの姿に感動しながら、カメラを片手に大きな声援を送っていました。